

お客様各位

ピネル社製緩和抑制帯 修理再開のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中止しておりました抑制帯の修理について、下記の通り再開をご案内いたします。

なお、大変恐縮ながら、ご依頼件数の増加が予想されますため、ご送付本数や対応内容を制限させていただきます。お客様には何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

【再開時期】

・ 2020年6月1日(月)より

【お客様へのお願い】

- ・ ひと月にご依頼されるベルトは、当面の間、1病院様あたり5本まででお願い致します。
- ・ 次ページの「修理不能品のめやす」をお読み頂き、できるだけ修理可能な製品をご依頼ください。
- ・ ご依頼品の取扱いに際しては、弊社もできるだけ感染症対策に努めますが、お客様におかれましても、洗濯してから送付頂くなど、ご協力をお願い致します。
- ・ 消毒工程の追加や、修理店の状況、ご依頼件数により、通常よりお時間を頂く可能性がございますので、何卒ご了承ください。
- ・ なお、感染の拡大状況により、修理の再中止の可能性もあり得ますので、ご了承ください。

【修理不能品のお取扱いについて】

・ 通常の修理対応品、修理不能と判断している製品の両方につきまして、修理中止の際にご案内しておりました、「付属品のない単品販売」のお取扱いを継続いたします（送料はご注文品の弊社規程を適用いたします）。ご希望の場合は、下記いずれかの方法で事前にお知らせください。

①弊社所定の「修理依頼票」に必要事項をご記入のうえ、FAX (045-444-9116) へご送付ください。受領後、弊社よりお電話にてご連絡いたします。

②電話またはメールにてご連絡を頂いても結構です。TEL (045-444-9115) または E-mail (green@pinel-japan.jp)

※修理のご依頼ではない新規ご注文品については、通常通り、付属品のあるセット商品となります。

以上

ピネル社製緩和抑制帯 修理不能品のめやす

下記のような状態の製品は、強度維持や安全性の面より、修理のお引き受けをいたしかねます。

【修理不能の例】

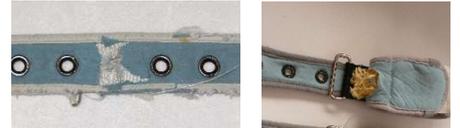
①縁のバイアステープが破損し、内側の素材が露出している状態。

→ 強度維持や安全性の面より、修理のお引き受けをいたしかねます。



②青い表面生地が破損し、内側の芯地が露出している状態。

→ 強度維持や安全性の面より、修理のお引き受けをいたしかねます。



③修理箇所が多数に渡る場合

→ 多数の破損により全体の強度低下につながるため、修理のお引き受けをいたしかねます。また、修理金額が高額になり、新規購入される方が安価になることがあります。

④前回修理済みの同一箇所

→ 修理済みの箇所の再破損は、強度維持や安全性の面より、修理のお引き受けをいたしかねます。

⑤ハトメ穴の破損部分が大きい場合

→ ハトメ穴には大きな負荷がかかるため、穴が大きい場合、生地を当ててハトメを打ち直しても、安全性が損なわれるため、修理のお引き受けをいたしかねます。



⑥耐用年数を超過している場合

→ 旧型（一体型）の腹部用ベルトや、バイアステープが黄色のストラップなど、メーカーで定める耐用年数（5年）を超過している製品は、修理のお引き受けをいたしかねる場合がございます。

⑦付属品（ボタン、ピン、マグネットキー）

→ 消耗品であり、金属加工設備がないため、修理のお引き受けをいたしかねます。

【修理のお引き受けができる例】

①ご購入より6ヶ月以内の初期不良品

→ 内容にかかわらず、無償修理とさせていただきます。付属品の場合は新品にお取替えいたします。

②手部／脚部用ベルトのマジックテープ張替え

→ 表面生地や芯地に強度低下につながる破損がない場合に限り、有償修理が可能です。

③ハトメの単純脱落

→ 表面生地や芯地に強度低下につながる破損がない場合に限り、有償修理が可能です。

上記以外のご依頼については、個別に弊社までお問い合わせください。

株式会社ピネルジャパン (TEL:045-444-9115 e-mail:green@pinel-japan.jp)